

○ 兼
石川信兼君

詠
子
終
リ
子
ニ
。

本案に於て提果理由の說明を求めず。明

(助役藤崎俊夫君登壇)

○助役藤崎俊次郎

藤原为四十二号
昭和四十四年度

福生が一級今討捕正算オニ号につくましく
提案理由とその結果にフクニ説明申上りす。

去る三月の定例会にかき子と入憶ふ于万日にあ

本年度当初予算の二割減を、
いたしたところ、
就いて

又先月の臨時合に於て子々一は夏を以てかえりて果

急工事必要シテ、ハルの徒歩、建築費重

神正
自下
の二
藤沢
セ
い
フ
た
い
フ
の
ズ
ゴ
ジ
子

手度、今計手度、果尊之終り、二六二、田子ノ年シ

手度の計剰余金の榮成強ハ既算ナリ

九百七十一万余日あるニハ明耀一ヨリ子三の

福生町議 会

關主明鑑

二め七株合に本年度でさるにけ早い株合に

予尊播置を以要と
し主と之國あるい

は、補助金とする、事業と二に取り

子とめ子とく、予尊規模一
百六十餘万に五五匹

本年四月二日、自の補正予算を議決し、提出す。

子身書にカマコリ三三多子下、子下一頁

予尊を以てふニ
子尊を以てふニ
子尊を以てふニ

[illegible]

三頁に記載さるゝ
アリ子す

カ一表
又入
又出
予算
補正
にフ
ソク
ニ
祝明
甲乙
あり

リ
ト
子
子
子

子下
オ入
で
二
に
い
子
す
が

オハ
親の
国庫
支出

金の才二項国庫補助金にあき子之ほ、相正額

二
三
百
六
十
八
万
七
千
四
百
五
十
七
加
一
丁
々
と
す
る
中
の

二の字にハシ又ニレ保育に

助收 篠崎俊次君 五万平方米をナヤニチの土を盛
るとソコニとでづいす。その関係の整備をこころ

その関係の整備について

土木費の伊予道路より橋りより費

ニ于テ、その万石の中に三多摩谷、武道路の復旧とい
う点があり、子に任せて、二の点には都の方で全部
復旧を促すか、どうかお尋ねした。子も

懷素俊天君

その関係は
子で
X
X
から用い
てある

け
す
と

九
負
二
一
下
子
新
入
一
五

三多

三條の
微收金
七十六

万 = 子 14

ふ
つ
ろ
あ
り
子
す

二
精
か
う
く
る
の
ほ
ー

六十七

子す
之ハカク

の
は
+

三自にのつてありて事請負費の中へ

經

道政工事と之の設備
七十万五千円

福生町議会

ありてす。二が三多摩給水分とこのヤ
出でこす。佐ろヤ入が六百七十九万
は、支出が六百七十九万といふすの
りの六万二千は事務費にあてるとい
るゆへでこす。

解と考

石川信業君

以上
三箇
疑を
終り
す。

あ
は
か
り

子下
葉才四十二号
子名常作

委員合には既に評議を済ませ、
下と出い子すが二ハに二妻讓二子せんカ、

有子

漢長江信義居

二、妻議
レと
~~所~~
女
子
す。
子
つ
議

第百五十二号 平常に本資合に託するに

決定ハ
ニ
ニ
ニ
ニ
ニ

下本質合の審査報告は本契約合の合意中

に
お
願
ひ
に
す
す

議長 佐川信義君
二時三十分子ぐ休憩セリトシテ

午後二時二十分休憩

伊後二時三十分閉議

○ 兼長（石川信義君）
示す。
休題示しに引く焼く合兼を用く

日種ハ八葉果ハ四十三号、昭和四十四年度福生所
と畜場特別会計補正予算第一号七葉題とした
し示す。

議事係長と之議席の朗読をいたさず。

口
議
反
以
信
果
居
一

業課長 田中 健一
本業に多少提案
理由の
説明を求めます。
後

福生町議会

産業課長 田中雅君 登壇

四年度福生協と商場特別合符修正予算

二の増額に
 なる子その理由で

[illegible]

「その業務は今年の内月から一部改正さす
す、今度市場側をひくとそう
二とでつづいていすし

その市況面と、今の普通の業者が縁を切

と務め、自に子之國にいれたるは、自の腕に
つそほ金部、自カでカスリくとソウ、けつきよく

原
 作
 の
 子
 和
 土
 の
 4
 7
 2
 3
 5
 7
 9
 11



の多摩食肉センターは市場制でございまして、一度と場にかつていまして、その買いあげまして一度豚を全頭買い上げまして、その買いあげまして、今度はそのを繰りにかけまして、また業者が買いとると、システムに四月一日から、場のように方法で、今までは多摩食肉センターを、利用していた業者が、業者の方には、その方たちが、福生のと場を利用する、と、頭数が、いえるように、なりまして、その、うな理由で、今日の、一、福生の、予算が、反らぬ、ため、けで、ございまして、は、答につく、と、説明、申、こ、あげ、ます。

総則に、つ、く、と、は、た、だ、い、と、朗、読、か、ん、じ、い、ま、し、



多摩列明細書に、より、と、二、説明、申、こ、あげ、ます。

子、が、オ、ス、カ、ラ、用、し、て、あ、げ、ま、す、と、と、高、場、使、用、料、を、こ、の、う、に、あ、げ、ま、す、が、補、正、の、額、が、十、六、百、六、十、八、千、五、百、二、十、五、千、三、百、と、な、る、や、り、で、ご、さ、い、ま、す。

二、の、増、加、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

三、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

四、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

五、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

六、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

七、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

八、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

九、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

十、の、頭、数、は、月、に、十、七、百、頭、の、い、え、る、予、定、と、し、て、あ、り、ま、す。二、の、ナ、ニ、カ、月、分、で、一、頭、四、百、十、日、と、し、て、ご、さ、い、ま、す。

負ふ之すすのその話所も非常に狭くなり、また
古くなりまゝ他生的な面からありかんはしくな
いといふことと、これを補修するため組んでありま
す。この補修費二十万は、このうち、田舎つ
るすとりを購へたといふもの、このうち、
つきの買収金、このうち、二は係長氏亡に
する退却手当組合への特別買収金、三十七万は、二
つあります。一、管理費の合計は、二十四万七千
に、百九十九千は、補正したところ、二千九百三
十九万六千は、このうち、予備費、このうち、
リチウム、補正額、二十九万一千は、このうち、
千円といふ、このうち、このうち、
以上、簡単に、このうち、このうち、
かえり、このうち、このうち、
せいた、このうち、このうち、
この説明にかえり、このうち、

議長 石川信義君 以上で提案理由の説明は終り
ました。

二、このうち、本業に好する質疑を行ないます。

九番 大野行夫君

このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

産業課長 内田和雄君

現在、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

九番 大野行夫君

このうち、このうち、このうち、

二、このうち、このうち、このうち、

産業課長 内田和雄君

現在、このうち、このうち、

